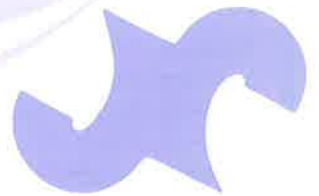
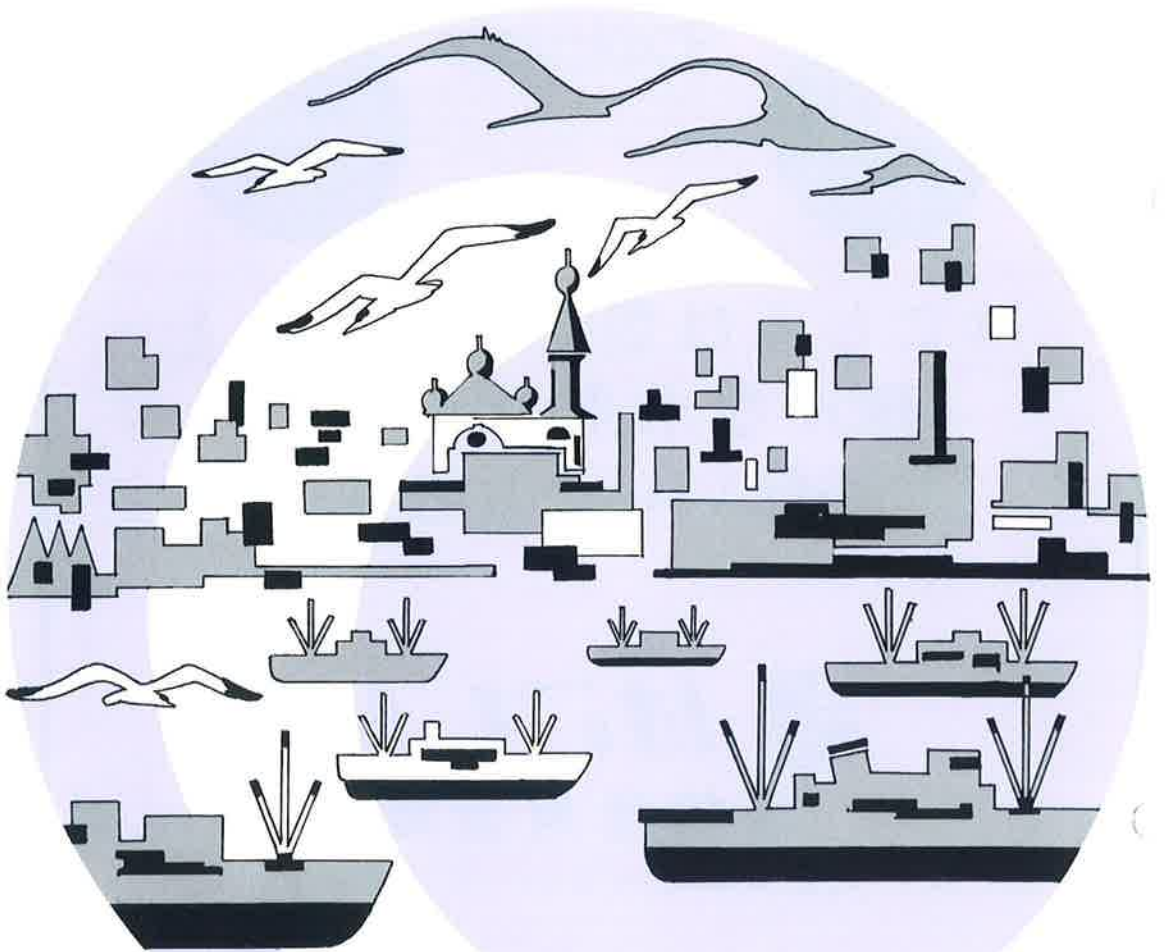


ともえ

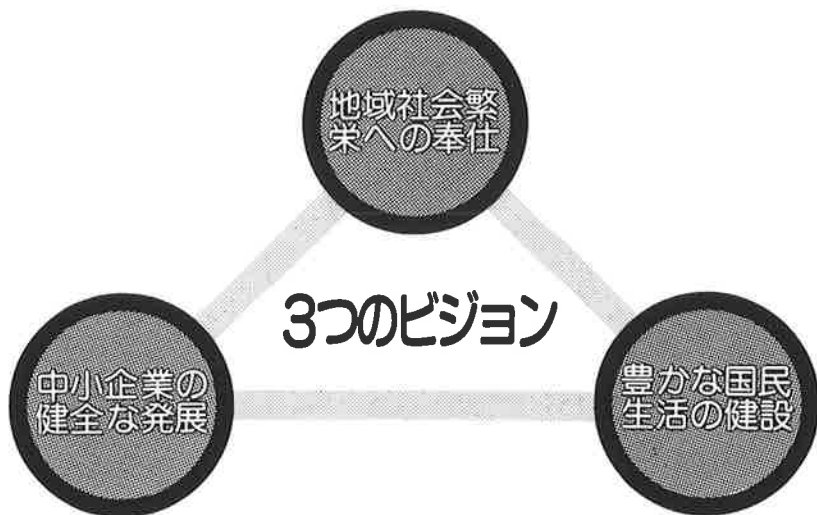
No.35



■函館商工会議所報■

1983 9月号

行動する
はつらつたる
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

 **はこしん**
函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町字飯生町30番	TEL73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511(代)	尻岸内支店	亀田郡尻岸内町字中浜115番の4	TEL84-2111(代)
弁天町支店	函館市弁天町15番6号	TEL26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521(代)			

ともえ

1983 9 No.35

巻頭言

青函連絡船の運航回数が九月二日初就航以来七十六年間で六十六万回を記録致しました。地球を千八百六十一周した勘定になります。

明治四十一年三月比羅夫丸が初航海した当時は一日一運航でしたが、昭和十五年には十二運航、終戦の年の七月には大空襲を受け、第四青函丸を初め十二隻の連絡船が全滅する被害に会い運航は一時中断しましたが、樺太丸や壱岐丸などの備船で難局を切り抜け、昭和二十四年ごろから安定した運航体制に復活しました。

しかしながら昭和二十九年九月、台風十五号による未曾有の災害で洞爺丸ほか四隻が沈没し、死者千四百人を出しましたが、この年に奇しくも青函トンネルの地質調査のボーリングが開始されております。

昭和三十年代と四十年代は高度成長期を迎え、客貨船も五、〇〇〇トン級七隻、貨物船四、〇〇〇トン級六隻、計十三隻で三十運航とピークを迎え、昭和四十八年、年間旅客数五百万人を数えましたが、現在は十一隻二十一運航体制で二百五十万人に落ち込んでおります。

海上百十三キロメートルを約四時間で運航している青函航路の海底下、昭和三十八年調査坑を掘さくした青函トンネルも二十年を経過し、先進導坑が本年貫通、あと三年位で本坑五十四キロメートルが完成、在来線による供用開始が待たれております。青函トンネル開通により日本列島四つの島はしっかりと結ばれます。

青函連絡船とトンネルの有効活用により北海道民人口一千万人の目標を達成する日も近いでしょう。

目次

- ☑ 巻頭言 ————— 1
- ☑ 会議所だより ————— 2～5
- ☑ 調査レポート ————— 6～9
- ☑ アドバイスコーナー ————— 10～11
- ☑ 寄稿文 ————— 12～13
- ☑ ご存じですか ————— 14～15
- ☑ 制度紹介 ————— 16
- ☑ 事務局日誌(8月)・雑感 ————— 17
- ☑ ティータイム ————— 18～19
- ☑ 告知板 ————— 20





会議所 だより

青函トンネル建設促進など

地域会議所七要望事項を決議

東北・道会議所
連絡会議

第十八回東北・北海道商工会議所
連絡会議が九月九日福島市ホテル辰

巳屋で開かれ、北海道側二十八、東
北側三十九の会議所から会頭、副会
頭、専務理事ら百七十余人が、本商
工会議所から川田会頭、高野、下郡
山両副会頭、加藤専務理事が出席、
また来賓として永野日本商工会議所
会頭（代理）、檜山仙台通商産業局
長（代理）、松平福島県知事、河原
田福島市長等が出席しました。この
連絡会議は、現実の厳しい経済情勢
を直視しつつ北海道と東北地域の当
面する諸問題を討究し、両地域の経
済振興発展を図ることを目的として
毎年開かれております。

会議では、東北側を代表して伊澤
東北六県連合会会長、開催地側から
山田福島商工会議所連合会会長、ま
た北海道側を代表して今井北海道商
工会議所連合会会頭がそれぞれあい
さつを行いました。次いで来賓とし
て出席した檜山仙台通商産業局長の

祝辞（本田商工部長代読）のあと伊澤
東北六県商工会議所連合会会長が議

長となり議事に入り、各地域会議所
から提出された昭和五十九年度政府
予算に対する要望事項七議案を討議
し全議案とも万場一致可決されまし
た。提出された議案は次の通りです。

- ①景気浮揚対策の推進について（北
海道提案）
- ②東北・北海道新幹線の
建設促進並びに鉄道交通網の整備促
進について（東北六県提案）
- ③青函
トンネルの建設促進について（北海
道提案）
- ④東北・北海道縦貫横断自
動車道の建設促進並びに道路網の整
備促進について（東北六県提案）
- ⑤
東北・北海道の空港並びに航空網の
整備促進について（東北六県提案）
- ⑥北海道東北開発公庫の機能の拡充
強化について（北海道提案）
- ⑦北方
領土の返還要求運動の促進について
（北海道提案）。

このなかで③青函トンネルの建設
促進については、本商工会議所川田

会頭が提案理由について「本問題は
昭和四十二年第一回連絡会議以来こ
んにちまで継続提案し決議されてい
る。青函トンネル建設の大構想は、
昭和二十一年に打ち出され、二十九
年の十五号台風で、洞爺丸ほか四隻
の青函連絡船が沈没すると言う世界
海難史上二番目という大事故の発生
が決定的な引き金となり「津軽海峡
に安全な輸送路を」の強い要望が実
現、昭和四十六年十一月青森県竜飛
と本道吉岡を結ぶ五四誌世界最長の
海底トンネル建設工事が着工され
た。然して本年一月先進導坑が貫通、
本道と本州が陸続きとなり、歴史的
一ページを記した。また本坑も本年
七月末九六・六％が完成し余すところ一・八誌までに至ったが、五十九年
度予算概算要求が前年度実績を大幅
に下回っており、完成は大幅に遅く
れることが予想されることから、ト
ンネル建設費を大幅に増額し、六十
年度完成を図ると共に津軽海峡線の
同時開業とその有効活用を要望し提
案するものである」と説明しました。

なお決議された七項目は、今後そ
の実現に向けて関係省庁に陳情、要
望していくことになりました。

二次産業を高めることが肝要

川田会頭、都心協例会で講演

五稜郭新都心協議会(会長堀田純一氏)夏季例会が、去る九月二日五稜郭タワーで開催されましたが、川田会頭が、「函館経済の課題」と題して特別講演をしました。

当市の経済概況をみると、最近倒産件数も増えてきている。日本経済は一次、二次オイルショックにより不況色が強く表われているが、当地域も同様である。

特に当地域では、産業構造上の問題を考えなければならない。現在当市の産業構造は、二次二二%、三次七四%で二次産業のウエイトは全国水準を大きく下回り、かつて好況を呈していた造船、鉄工業は、低成長時代の突入と共に造船のオーダーは激減、また水産及び関連工業では二百海里規制などで漁獲が減り、水産業とその関連工業は大きな影響を受けたことが不況の要因でもある。

大平洋ベルト地帯は、比較的の不況

感はない。例えば浜松市のごとくエレクトロニクス等を中心に二次産業のシェアは三五から四五%を占めて地域経済振興を図っている。従って当市も時間をかけても二次産業を持ち上げる必要がある。当函館地域においてもこの不況から脱するため、地元にある原料、技術、資金等を掘り起こし、二次産業を高め産業構造を正常化しなければならない。

勿論、企業の設備力、技術力、販売力をつけることは今後大きな課題であり、とりわけ販売力については、潜在需要(ニーズ)を適格に把み新たなマーケットを確保する企業努力がのぞまれている。会議所としてはこ

れら当面する課題に対し、各部会、委員会の活動を通じて種々提言して行く基本的姿勢を持っている。一方では政策的に景気の刺激を図ることである。二十一世紀型都市づくりのテクノポリス建設実現と、青

函トンネル開通を記念し是非青森市と同時に青函博を開催する二つの大きな課題である。

テクノポリス構想は、これまで既に発表されているところであるが、いよいよ十二月頃、全国から数箇所が本指定される予定になっている。その推進に当っては、北海道の持つ農林水産資源活用のテクノを道南と

言うより道全体の振興策として積極的に取り組むため、既にプロジェクトチームも編成され、当地域のテクノポリス構想は、当市が持つ特色を生かした海洋型テクノとして強力に推進しているところである。いずれにしろ今後、「産」、「学」の確立こそ新しい都市づくりにも重要な要素となるものであります。

また青函博開催については、既に青森県は先行しているが、北海道としても地元函館市を中心として是非開催したい。

開通を記念し青函博を開催することとは地元にとって相当のメリットがあるとして目下会議所の特別委員会

で検討が進められ市民の充分なコンセンサスを得ることにしている。その他、国立複合大学設置等、新

しい都市づくりに問題は山積するが長期展望に立って着実に推進して行きたい。

経営移動相談室 開設ご案内

函館商工会議所中小企業相談所では、国・道・市の融資制度の説明を中心とした経営移動相談室を下記により開設いたします。

記

- 10月12(日) 水花園町会事務所
 - 〃〃〃(日) 水大町会館
 - 〃〃13(日) 木中島町会館
 - 〃〃〃(日) 木港町会館
 - 〃〃〃(日) 木函館青色会館
 - 〃〃14(日) 金宮前町会事務所
 - 〃〃〃(日) 金函館市民会館
 - 〃〃〃(日) 金函館商工会議所
- ※時間は午後六時から八時までです

新時代に即した街づくりに感嘆

本所議員会管外視察

本所議員会では去る、八月二十五日から二十七日までの三日間にわたり、棟方忠議員会会長ほか十一人の議員と、事務局を含め総勢十四人により長岡市（新潟県）、新潟市、東京ディズニールランドの視察を行いました。

今回の視察は、昨年同会が実施した仙台市、盛岡市、青森市における東北新幹線の影響調査に引き続き実施されたもので、上越新幹線の開業一年後における影響調査、函館市とともにテクノポリス候補地の一つである長岡市の現況調査、そして世紀の大事業である青函トンネルの貫通、開業を記念するための津軽海峡大博覧会（仮称）開催の参考にするために新潟博覧会、東京ディズニールランドの調査、この三つが主な目的でした。

長岡市においては、商工会議所はじめ、市、地域振興整備公団長岡都市開発事務所などの関係各位を講師

として同市の説明を受けました。席上星野長岡商工会議所専務理事が「長岡市は、城下町から発展した人口約十八万人の都市であるが、昭和二十年八月一日の空襲により都市機能の大半を失った。しかし油田の発見が復旧の神風の役割を果たした。即ち、掘削用の工作機械製作の技術や、作業服用の繊維技術の発達などが、それである」とこれまでの歩みを説明し、次いで「上越新幹線の開業により、東京とは約百分で結ばれ、大型店の進出ラッシュは、他都市と同様である。テクノポリスに関しては、本指定に向けて、市内に特別委員会を、東京に委員会（委員長稲葉修三氏）を設置し運動を展開中である。また、将来には、現在造成中の長岡ニュータウンと、大学院

大学である長岡科学技術科大学（全国では豊橋と二校）との関係を深め、今日以上に地場企業と密着させたい」と説明した。

また、地域振興整備公団の黒田氏は、「長岡ニュータウン計画は、現市街地、信濃川河西に変わって河東地区を昭和五十年に地域振興整備公団の地方都市整備事業の第一号として整備された。計画は、十五カ年計画であり、総面積千八十三分の敷地に独立家屋、集合家屋一万户を入居させ人口四万人程度の都市を形成するとともに、新産センター（現在約百二十社が土地取得）との関係を図るものとし、その総事業費は最終年度で二千億円を見込んでいる。」と説明されました。

続いて、駅前再開発の現況について長岡市役所の片桐氏は「上越新幹線の長岡駅乗り入れ決定（昭和四十六年）により都市計画が再考され、同計画の要である駅ビル改造計画（キーテナントIIセゾン）が実現し、駅前広場も大幅に拡充する計画で、昭和六十年度の完成に向けて着々と進行中である」と説明されました。

その後、視察団一行は、現在進行中の「長岡テクノポリス」の中心となるニュータウン中央地区・同雲出地区、新産業センター、技術科学大

車★馬★銀★クラブ

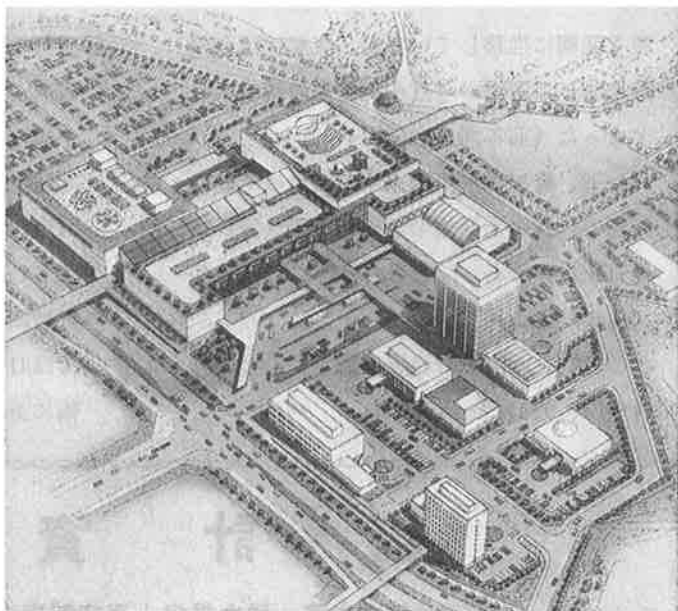
函館市松風町4番8号

☎22-3063
☎23-3358 (小島商事)

会 議 所 だ よ り

学等を視察、その規模、内容等には驚きと賞賛の声をあげていました。

新潟市においては、博覧会を視察した後、同会議所を訪れ、佐野専務理事から「博覧会は上越新幹線の開業を記念したイベントであり、県・市・会議所・新潟日報社の主催で行われたが、その規模は、面積約十五万(市下水道処理場用地)、総体事業費約十四億円(主催者負担金二億四



長 岡 ニ ュ ー タ ウ ン タ ウ ン セ ン タ ー

型店の中央からの進出でその調整には苦慮している。特に流通部間での都市間競争の激化を心配している。

反面観光客の入り込みは二〇から三〇%程度増となっているのは明るい材料であるが、開業後一年程度では、この変化が一過性のものか恒常的なものかは判断しがたい。再開発については、駅前地区に取り組んでいるが、同地区約十五・四万を対象

千万円)であった。実施に当たって種々問題点はあったが、昭和五十五年に準備委員会を設置、今年一月、十五

に、これをゾーン化、その特色を生かしたものを進めて行くことにしている」との説明を受けました。

最終日、一行は東京ディズニーランド(千葉県浦安市)を視察しました。敷地面積八十二万の広大な敷地にアトラクション、飲食店等九十九が設けられ、「ファミリーエンターテイメント」の理念のもとに運営されていました。これは「今後津軽海峡博覧会を開催するうえでの参考となる」などの感想が一行から出されていました。

のパビリオンが最終的に決定というスピード処理で実現に至った」との説明を受けました。

続いて、新幹線開業の影響と駅前再開発について「他都市同様、ホテル、大

青 函 ト ン ネ ル 本 坑

建 設 現 場 視 察

議員会では、前の管外視察に続き九月十二日には川田会頭はじめ二十四人の議員により青函トンネル本坑建設現場の視察を行いました。鉄道建設公団の福岡副所長(吉岡建設所)の概況説明の後、実際に立坑からトンネル内に入り、連絡坑から将来列車の通る本坑までを視察し、あらためてその偉業に感心し、「一日も早い貫通を」と希望の声が出されていました。



'83・秋 ファッショングラス フェア

メガネの数だけ、おしゃれの幅がひろがります。

charmewonderbe



最新型コンピューター視力測定器設置

メガネの **シヤルムワンダベ**

杉並町バス停・遺愛高校まえ ☎52-5246

☎お車でおこしの方は当店契約駐車場をご利用下さい。

続き低調に推移しているが、流動性預金の月末休日滞留増から月中14億円の減少にとどまった（前年同△68億円）。

一方、貸出は水産関連原魚買付けや運輸設備等の資金需要増のほか、支手決済資金の月末滞留もあって、月中57億円の増加（前年同32億円）。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は月中△0.010%と小幅低下。

○銀行券は、月末日が休日に当たったことから還流が鈍かった一方、行楽・月末決済資金が嵩んだため、月中受超額は40億円と前年（同50億円）を下回った。

○財政収支をみると、受入は前年並みとなったものの、支払が公共事業の支払減、簡保貸付減などから前年を下回ったため、月中では41億円の受超と前年（同24億円）を大幅に上回った。 以 上

統 計 資 料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高（10店） 昭和58年8月

品 目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣 料 品	1,996,854	72.6	93.3
身 回 品	485,964	98.0	92.3
雑 貨	605,621	59.0	100.8
家 庭 用 品	593,232	88.6	95.1
食 料 品	1,792,858	95.5	106.7
食 堂 ・ 喫 茶	226,730	111.3	100.0
サ ー ビ ス	56,521	94.2	95.9
そ の 他	247,137	130.2	109.3
総 額	6,004,917	82.6	98.7

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショッピングセンター、ホリタショッピングセンター、ホリタショッピングセンターの各店をいう。テーオー小笠原については食料品を扱っていない。



7月

昭和58年8月25日発表

金融経済概況

日本銀行函館支店

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、造船、製缶機械は操業度が低下しているほか、個人消費も夏物衣料・家電等の売れ行きがいまひとつ不冴えで、総じてみると回復感に乏しい状況。ただ、こうした中において生コン、段ボール箱、合板機械などは当面は夏場盛業期ということもあって高水準の生産を続けており、また、低調であった珍味加工の荷動きも幾分上向いている。

一方、金融面では企業の資金需要は水産関連の季節資金等がみられたが、全体としては引き続き鎮静している。

2. 産業界

○实体经济の動向を主要産業別にみると、セメントは7月中は他工場分の生産支援もあって引き続きフル操業、また、生コンも青函トンネル取付け線等公共工事向けを中心に需要が底堅く推移しており高操業を続けている。段ボール箱は青果物ケース、加工食品向け出荷が順調で、高水準の生産を行っている。石油精製ではスポットの原油処理という特殊要因から7・8月と高水準の生産となっており、合板機械も納期の集中から高操業を続行。肥料は早取り需要に備えフル操業を行っているが、出荷の出足は低

調。漁網は秋サケ用定置網の先行生産の反動減に加え、底引網の出荷もスケトウ漁の不振を映じ低調であるが、イカ流し網の受注増からなお前年並みの生産水準を維持している。一方、製缶機械は新規受注がこのところ伸び悩んでおり、操業度を幾分引き下げている。また、造船も受注環境が厳しく低操業を続けている。珍味加工については、末端の季節需要増に加え、手持在庫低水準の間屋筋が製品価格の軟化を眺め幾分手当を積極化したこと等を背景に、荷動きがやや上向いている。

○一次産業面をみると、農作物の生育は、8月入り後の好天が幸いして水稻・飼料作物（デントコーン・牧草）をはじめ各作物とも8月央時点では幾分持ち直している。

この間、近海マイカ漁は水揚げ量としてはほぼ前年並みながら、魚体が大きいなど漁模様は比較的良好との受けとめ方。

一方、コンブ漁は低水温・日照不足にたたられ生育不良で、出足は前年を下回っている模様。

○個人消費面をみると、市内大型店では、中元贈答品はまざまざの売れ行きを示したが、夏物衣料等季節商品は早期に仕掛けたバーゲンセールもいまひとつ不冴え。因みに、7月中の大型小売店売上高（10か店）は前年比△2.3%と2か月連続して前年水準を下回った。

耐久消費財では、家電は冷蔵庫・洗濯機等季節商品の売れ行きが鈍化した反面、乗用車新車登録台数（7月中）は新車検制度移行（7月1日）直後という特殊事情もあって高い伸びを示した（前年比+17.7%）。

3. 金融事情（7月中）

○管内金融機関の実質預金は、一般預金は引

表-2 函館市公共関連工事発注状況

(単位:百万円、%)

	合計		部 局 別 内 訳											
			土木部		都市建設部		下水道部		港湾部		教育委員会		その他	
	金額	発注率	金額	発注率	金額	発注率	金額	発注率	金額	発注率	金額	発注率	金額	発注率
昭和56年度	13,547													
昭和57年度	14,401	99.5	4,091	99.8	1,246	99.9	4,241	100.0	806	100.0	2,211	99.9	1,806	96.9
第1・四半期	6,744	47.9	1,038	27.7	703	52.4	3,035	75.1	476	55.9	1,074	46.9	418	23.3
第2・四半期	11,538	82.0	3,007	80.0	1,078	80.4	3,519	87.1	664	77.9	2,050	89.4	1,220	62.9
第3・四半期	13,514	94.2	3,689	93.3	1,158	92.9	4,001	97.0	795	89.7	2,153	97.2	1,718	89.4
第4・四半期	14,401	99.5	4,091	99.8	1,246	99.9	4,241	100.0	806	100.0	2,211	99.9	1,806	96.9
昭和58年4月	383	4.4	239	9.1	3	0.4	—	—	13	1.9	—	—	128	6.3
5月	2,758	31.9	616	23.3	576	74.5	833	54.9	19	2.7	381	37.8	333	16.6
6月	3,452	39.9	776	29.4	616	79.8	999	65.8	64	9.0	500	49.7	497	24.7

※ 57年度発注率(契約率)が100%とならないのは予算計上額に対し、入札差金等工事(函館市提供)差金が生じたためである。

※ 58年4~6月の発注率(契約率)は年度当初予算に対する数値である。

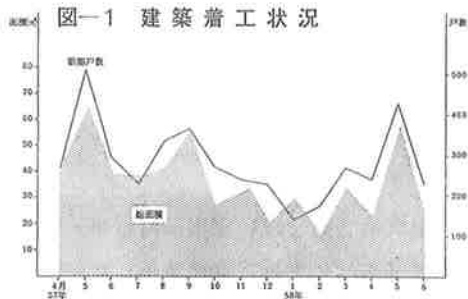
員会5億円(同49.7%)、その他4億9,700万円(同24.7%)となっている。

(2) 建築着工状況

第1・四半期の函館市内建築着工状況は、建築物床面積合計が103,305㎡で前年同期比29.5%の減少、うち住宅部分床面積も75,842㎡で前年同期に比べ26.4%の大幅な減少となった。

住宅総戸数をみると前年同期比11.1%減の1,118戸、このうち新築住宅は898戸で前年同期に比べ14.6%の減少となっている。

今期の着工状況を月別にみても、6月の増改築戸数が87戸と前年同期(46戸)を上回ったほかはすべての月で前年同期を下回る結果となった。



(3) 個人消費

①大型店売上高

第1・四半期の函館市内第1種大型店売上高(ニトリ家具を除く)は193億9,834万円の前年同期に比べ1.2%の微増となった。

品目別にみると、衣料品75億8,983万円(前年同期比0.4%減)、身回品14億7,931万円(同0.9%減)、雑貨21億7,841万円(同0.7%増)、

家庭用品19億7,785万円(同2.1%増)、食料品48億2,857万円(同5.6%増)、食堂・喫茶5億4,655万円(同3.6%減)、サービス1億7,218万円(同0.5%増)、その他6億2,565万円(同3.1%減)となっており、食料品、家庭用品が堅調に推移したほかは前年並みか前年を下回る結果となっている。

特に6月に入り、天候不順の影響で夏物衣料が思うように伸びず、主力の衣料品が前年同期比10.6%の減と全く振るわなかったのを始め、身回品も前年同期に比べ11.0%と大きく落ち込んだため、総体で前年同期比2.9%の減と昨年11月以来半年ぶりに前年を下回った。

②新車登録台数

第1・四半期の函館管内新車登録台数は6,778台で前年同期に比べ1.0%の微増となった。

車種別にみると軽自動車の前年同期比16.3%増の1,259台と相変わらず好調な伸びを示したが、普通自動車と同1.8%減の4,366台、貨物その他が同2.4%減の1,153台と前年同期を下回った。

また、月別にみると4月、5月には好調な軽自動車全体を底上げしたこともあり、前年同期比それぞれ2.7%増、3.0%増と堅調に推移したが、6月に入り普通乗用車が前年同期比7.7%の減、貨物・その他が同9.9%の減と大きくマイナスしたことから、総体で前年同期比2.6%の減と8カ月ぶりに前年を下回った。普通乗用車については7月から実施の3年車検に対する買い控えの影響が出たものと思われる。

経済の窓

函館地域の
経済動向

昭和58年度 第1・四半期

昭和58年度第1・四半期(4月～6月)の「函館地域における経済の動き」がまとまりましたので、その中から函館地域の経済動向についての概況及び主要指標をお知らせします。

1. 概況

昭和58年度第1・四半期の函館管内経済情勢は、各需要とも総じて盛り上がり欠け依然として低迷基調で推移しており、回復に至るまで当面険しい道程が続くと思われる。

内容では、生産活動は需要期入りもあり、水準は低いものの若干上昇気味であるが、受注確保難等先行き厳しい情勢となっている。また、建設活動は公共工事が地方選挙、参議員選挙等の影響もあり発注が出遅れ、額、率とも前年同期を下回り、住宅着工においても前年同期を下回っている。

個人消費については、実質所得の伸び悩みに加え、天候不順による消費マインドの低下もあり、大型小売店販売、乗用車販売とも低調に推移した。

次に、企業経営をみると、需要期入りにもかかわらず売上げは前期比、前年同期比とも減少企業が増加企業を上回っており、依然として減収減益基調が続いているなかで、企業倒産は大型化し負債総額が前年同期の3.7倍

にも達している。さらに、雇用情勢も依然足踏み状態が続いている。

2. 主要指標の動向

(1) 公共事業発注状況

昭和58年度第1・四半期の函館管内公共事業発注状況は総体の発注額が320億1,800万円、前年同期に比べ61億2,200万円減少し、発注率でも62.7%と前年同期(65.3%)を下回った。

機関別にみると函館開発建設部は発注額137億4,800万円、発注率65.7%で前年同期(164億200万円、73.1%)を下回っており、事業別では道路事業(発注率64.6%)、港湾事業(同69.2%)、土地改良事業(同41.5%)が前年より減少、河川事業(同44.2%)、農用地事業(同73.8%)、漁港事業(同85.8%)、空港事業(同97.9%)では前年並みか前年を上回る発注状況となっている。

函館土木現業所では発注額148億1,800万円、発注率68.9%で前年同期(149億5,800万円、68.4%)とほぼ同水準の発注状況となっている。事業別にみるとダム事業(発注率93.5%)、漁港事業(同79.4%)、災害事業(同81.9%)、港湾災害事業(同94.3%)においてそれぞれ高率の前倒し発注となっている。

函館市については発注額34億5,200万円、発注率39.9%と前年同期(67億4,400万円、47.9%)を大幅に下回る結果となったが、地方選挙の影響が大きく、補正予算が組まれる第2・四半期以降の進捗が期待される。(なお、第1・四半期の発注率については年度当初予算に対するもので第2・四半期以降はその時点で補正済の予算に対して算出されず。)部局別では土木部7億7,600万円(発注率29.4%)、都市建設部6億1,600万円(同79.8%)、下水道部9億9,900万円(同65.8%)、港湾部6,400万円(同9.0%)、教育委

表-1 主要機関公共関連工事発注状況

(単位:百万円,%)

	函館開発建設部			函館土木現業所		
	件数	金額	発注率	件数	金額	発注率
昭和56年度	412	2,294.9	100.0	801	2,466.6	100.0
昭和57年度	443	2,236.8	100.0	959	2,594.1	100.0
第1・四半期	173	1,640.2	73.1	295	1,495.8	68.4
第2・四半期	325	2,087.6	92.7	605	2,181.7	91.2
第3・四半期	393	2,170.0	98.4	850	2,481.1	97.8
第4・四半期	443	2,236.8	100.0	959	2,594.1	100.0
昭和58年4月	31	3,365	16.1	100	5,479	27.1
5月	112	1,141.2	54.6	181	1,057.3	49.1
6月	170	1,374.8	65.7	295	1,481.8	68.9

ヒントぴんと

榮繁

あなたは 「二つの勇氣」を 実践する勇氣を もつことです

いままでは商売の売上げを支えているのは三つの「氣」であるといわれてきました。すなわち、天氣の「氣」、景氣の「氣」、そして、ヤル氣の「氣」の三つの氣です。確かに、天氣や景氣というコントロールできない要素を、うまく利用する才氣が大切だといふ意味で、この言葉は味わいがあります。

しかし、よく考えてみますと、天氣や景氣は一応どの商売にも平等に

作用していませんから競合店に格差をつける要素にはならないのです。ですから、「ヤル氣」魅力」だけが商売を大きく左右する要素とは限らないのです。

よく、あなたの地域を知って、その地域に合った商売のやり方を考えなさい—コンサルタントが教える「ヤル氣」とは、そういう意味でのことですが、これから述べる「氣」は、同じ氣でも、あなたが人生の岐路に直面したときの何度かの決断で

みせた、あの「勇氣」です。「二つの勇氣」のまず第一は、良いことを率先してやる勇氣です。

まず、その手はじめとして、お客さまにだけでなく、家庭の中でもあなた自身が、「おはようございます」「ありがとうございます」と誰れ彼れの区別なくなさる勇氣（習慣）を身につけることです。

デパート、スーパーなどで新入社員にまず教える言葉に「ありがとうございます」が、この「ありがとうございます」という言葉が、なかなかスラスラと出て来ないというのです。なぜかといいますが、彼女たちは家庭の中で「ありがとうございます」とい言



(有)宮原かまぼこ

本店 北海道函館市豊川町2の18
長崎屋店 北海道函館市美原1丁目5-23

TEL(代)22-0765
TEL 45-3411

葉を使ったことがないから、というのです。これでは、「歌を忘れたカナリヤ」です。「まさか、そんなことが」と思いたいのですが、それは事実なので驚きです。父母や兄弟をはじめ、友だちの間でも彼女は「ありがとう」という言葉を持たないのです。親切にしていたいただいてもそれを当り前だと思って何も言わないのか、あるいは「ありがとう」と心では思っても表現する言葉を持たないかの何れかです。とにかく「ありがとう」という言葉を言う習慣が、あなたの家庭から失われているとしたら、それはまことに悲しむべきことです。なぜなら、人生において一番大切な言葉は、この「ありがとう」でございます」という感謝する言葉です。ですから、新しい従業員に対してまず「いらっしゃいませ」にはじまり、「何をお捜しですか?」とか「何をお見せしましょうか?」とかになり、それから「幾ら幾らでございませう」とか「幾ら幾らおあずかりしました」になり、「少々お待ち下さい」になり、「ありがとうございませう」「またどうぞおいで下さい」となってゆくのです。少々、脱線したようですが、昔から「娘をみれば親



がわかる」といいます。いまからでも遅くはないのです。まず、もう一度、人間の基本である「ありがとう」というこの美しい言葉を是非、あなたの家庭の中から『オアシス運動』「おはようございます」と挨拶すること。ア「ありがとう」と感謝すること。シー親切にすること。ス「すみません」と謙虚にわびること。この四つの言葉を勉強をもって今日から

実践なさることをおすすめします。

もう一つの勇氣は、悪いことを率先してあらためる勇氣です。

悪いことだと十分に承知しながら今までの習慣と気の弱さからそれを改めずにいることがあなたの身近に沢山ある筈です。旦那さまに何か不都合なことをいわれたり、従業員や、お客さまから仕事上のミス指摘された時など「ふくれる、むくれる、すぐに泣く(ヒスになる)」というのが女性の三悪といわれています。あなたの自動努力でこの三悪を追放できなければ、魅力的な人間とはいえないのです。

この三悪は、何も女性だけに限ったことではありませんが一般的な傾向として女性に多くみられるようです。また、地域での各種の会合の際に、その地域特有の時間があつて開会が二十分、三十分は必ずおくれることがあります。これなどもすぐ改めたいことの一つです。あなたは、まず、自分の中に、自分を鞭打つ鞭を持つことから始めることです。「良いことを率先して始める勇氣」「悪いことを自ら改め、惰性を断ち切る勇氣」—この「二つの勇氣」を直ちに実行なさる勇氣が必要です。

営業種目/冷凍冷蔵倉庫業・水産物製造加工販売・普通倉庫業・運輸業



北海道水産製造株式会社

取締役会長 高野源蔵 取締役社長 高野洋蔵

本社 札幌市中央区北4条西5丁目(三井生命ビル) TEL (代表) 221-3146

函館支店	川町27番5号	TEL (代) 22-7136
支店	川町27番5号	TEL (代) 22-7136
支店	東区築地6丁目6番3号	TEL (代) 543-3510
支店	西浜町3丁目14番地	TEL (代) 3-4185
支店	港区芝浦4丁目16番36号	TEL (代) 456-1771